

<p>貸借対照表</p>	<p>地方公共団体がどれほどの資産や債務を有するかについてまとめたものです。 左側はお金を何に使ったか、右側にはそのお金をどこから調達してきたかが表示されています。また、右側上段の負債は将来世代の負担となるもの、右側下段の純資産は過去・現在世代の負担となったものと言い換えることができます。</p>
<p>行政コスト計算書</p>	<p>経常的な活動に伴うコストと、それに対する使用料等の収入を示すものです。行政コスト計算書では1年間にどのような目的(教育関係や福祉関係など)にどれだけお金を使ったかがわかります。あわら市は県内他市に比べ、住民一人当たりの社会保障給付及び補助金等の金額が大きくなっています。</p>
<p>純資産変動計算書</p>	<p>1年間の純資産の増減を示すものです。 その他の一般財源は、自由に使えるお金と言い換えることができ、ほぼ全ての地方公共団体はマイナスの数字になります。その理由は、人件費や扶助費などの義務的経費を臨時財政対策債という地方債で賄っているためです。あわら市は県内他市に比べ、住民一人当たりの純資産額は小さくなっています。</p>
<p>資金収支計算書</p>	<p>1年間の現金の流れを示すものです。 どのような活動に、どれだけの資金が必要とされているかを表します。地方税等の一般財源は経常的収支に計上されるため、基本的に公共資産整備や投資・財務活動では赤字となります。</p>